

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 安芸高田市社会福祉協議会

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

# 平成28年度 安芸高田市社会福祉協議会 事業報告

## ■事業報告概要

### ◆はじめに

急速な少子高齢化、地域社会の変容により、社会的孤立や貧困、また福祉ニーズが多様化、複雑化する中、平成28年度は、社会福祉法の一部改正に伴う経過措置として、定款の変更や諸規程の見直し、また新評議員の選任等、さまざまな改正・改革を進めてきました。

社会福祉を取り巻く環境の変化から、そのあり方が問われ、社会福祉法人の地域における公益的な活動の推進、法人組織の体制強化、法人運営の透明性の確保等が求められています。その中で、生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者等の社会参加を進めるために、新しい地域支援事業への移行や生活支援サービスの基盤整備など、新規事業に見合った組織機能編成を行ない、中・長期的な財政基盤の確立に向けた経営改革に努めました。

また、平成28年度は地域福祉活動計画『あったか福祉のまちづくり計画』中間実施年度として、各事業の評価と進捗状況を確認しながら、地域住民や福祉関係機関・団体との連携を図りました。以下の重点取組を柱に各種事業を展開し、地域福祉の更なる充実に取り組みました。

### ◆平成28年度の取組

#### **重点取組1** 社会福祉法人としての機能強化

##### 1 法人運営事業の推進

平成28年度は、組織機構改革として、甲田支所内へ生活福祉課を新設し、住民自身が「暮らし続けたいと思う地域」の姿を描き、介護保険事業から新たに職員を配置しました。介護予防に向けた取組や生活課題の抽出を同時に実践でき、地域の相談窓口機能をより充実させることができました。

また、市との人事交流を行い、全般的な組織体制の見直しに加えて、法人の運営基盤の強化に向けて邁進しました。主には、事業を計画的に展開するにあたり、理事会7回、監査会2回、評議員会5回、社会福祉事業調整協議会3回、その他部会や委員会等、諸会議の会務運営を図りました。

働き方改革としては、過重労働による健康障害防止として、時間外管理の徹底的な見直しを行ないました。また、安全運転等の啓発に努め、事故予防対策を講じました。

##### 2 社会福祉従事者の育成

役員の見学研修や職員の意欲向上および即戦力となる人材の定着を図るため、キャリア形成促進助成制度を有効に活用し、研修(年10回)に参加しやすい環境づくりに努めました。

また、人事考課制度の導入2年目となり、職員のチャレンジ目標設定を明確化し、スキルアップ向上を目的に、研修体制を強化しました。その中で、社労士や弁護士を講師に招いての内部研修や県社協の階級別研修等の外部研等、職員の参加を斡旋し、諸経費の充当を行ないました。年度末には、所属長推薦により希望職員には、正職員登用試験等を実施するなど、キャリアアップ支援にも積極的に取り組みました。

## **重点取組2** 福祉のまちづくりをめざしてのネットワークを活かした活動

### **1 地域福祉のネットワークづくり**

年4回の社協だより発行やホームページにより、市民に幅広く、社協事業等の福祉関連情報を提供・紹介し、町内の福祉活動の啓発を図りました。

また、役職員が直接足を運んでPR活動を行ない、社協会員の加入を促進しました。社協会費納入は5,048,750円となり、会員加入は賛助・団体を合わせ、延335会員数となりました。

## **重点取組3** 団体支援や講習会などを行い つながりあるまちづくり

### **1 福祉関係組織の活動支援**

日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区の事務事業、また安芸高田市共同募金委員会事務を堅実に行ないました。救急法講習の普及や熊本地震災害義援金2,222,086円を県支部を通じて、被災地へ届けました。住民のやさしさや思いやりを届ける運動として、街頭・イベント募金では赤い羽根募金活動を役職員が一丸となって行ないました。各町の福祉委員等のご尽力により、募金額5,450,852円となりました。

また、共同募金配分金は、社協の福祉事業への充当に加え、公募・審査により、市内の住民組織4団体へ総額228,000円の助成を行ないました。

## **重点取組4** 笑顔あふれる地域づくりをめざして ともに支えあう地域福祉事業

### **1 ボランティア活動の推進と援助**

次世代を担う子どもたちに福祉の地域づくり活動への理解と参画を目的に、福祉教育活動を推進しました。小・中学校へ職員を派遣し、高齢者疑似体験学習を行ないました。

平成28年5月24日災害時多言語支援センター設置等の関する協定調印により、災害に備えて、安心して安全なセーフティーネットの体制づくりを行ないました。

また、ボランティア交流活動や派遣、講演会を開催しました。

### **2 住民主体による地域福祉活動の推進**

特に地域包括ケア推進事業を重点事業とし、取り組みました。平成28年度は、美土里町を対象地域(平成26年度甲田町、平成27年度八千代町)とし、地域での見守り体制のあり方を協議し、「地域を見守る会」として協力者養成、情報提供や見守り地図の作成を行ないました。

### **3 子育て支援の推進**

子育てを応援してほしい側と子育てを応援する側のマッチング調整・支援を行ないま

した。特に交流会では、育児や生活上の悩みをお互い話せる機会として、やまめのつかみどりやバーベキューの企画運行を行ない、66人の参加がありました。

吉田支所内の「ふわふわ」保育室では、保育士等による一時預り・病後児預りにより、延利用数562件となり、昨年度より168件、利用が増えました。

#### **4 地域における権利擁護の推進**

福祉サービス利用援助事業かけはしの契約登録件数は40人、延支援回数6,027回となり、前年度より1,216回支援回数が増えました。

成年後見事業では、法人受任2件、延223回の支援を行ないました。セミナーや相談会を開催し、40名の参加がありました。地域で安心して暮らせるために、関係機関との連携を図りました。

#### **5 身近な地域での住民のつながり 支えあい活動の推進**

新規事業として、小地域お茶の間づくり事業に取り組みました。常設型サロンの設置に向けて、振興会や協力員との協議を繰り返し重ねる中で、11月に美土里町横田地域に「くつろぎハウスよこた」を開設することができました。高齢者の孤立化予防や健康増進を目的とした住民の集いの場として、また地域ボランティアによる自主的な活動の場として、地域課題を地域で解決していくための工夫や人のつながりが深まっています。

#### **重点取組5 住み慣れた地域での安心感を支える 専門的サービスの提供**

一次予防事業においては、地域の支え合いや担い手づくりを目的に、地域の登録支援員と一緒に取り組みを行ないました。10会場で開催し、延参加数3258人で、前年度より458人延参加数が増えました。

通所介護事業においては、利用定員を30名から25名の受入とし、前年度実績に見合った職員配置とする中で、ジョイサウンドの導入や新規利用のための広報活動を行ない、要介護の利用者数が増えました。

居宅介護支援事業においては、主任介護支援専門員を中心に個別事例を通して地域課題への対策や協議を行ない、課題解決に向けて積極的に取り組みました。

福祉用具貸与事業においては、定期ミーティング等により業務課題の改善を活発に意見交換し、自費レンタル対象者および対象品目を拡充し、より多くの方が利用できるように、改善・対策に取り組みました。実績として、特に介護予防の利用者数が増えました。

訪問介護事業、障害者自立支援事業においては、概ね利用者数は増えましたが、身体介護のサービス提供回数が減ってきました。

#### **重点取組6 地域の身近な相談窓口として ネットワークを活かした活動**

地域包括支援センターを受託し2年目となり、積極的な周知活動を行なう中で、介護や医療、福祉など様々な総合相談を受け、市役所や関係機関と連携しながら、早期対応や問題解決に努めました。

## 目 次

### ■ 事業報告概要

ページ 1～3

### ■ 事業報告

#### 重点取組1 社会福祉法人としての機能強化

No.	事業No.	事業名		担当課	ページ
1	1-1	法人運営事業の推進		総務	1
2	1-2	社会福祉従事者の育成		総務	4
3	1-3	施設指定管理の受託運営	受託	総務	5

#### 重点取組2 福祉のまちづくりをめざして ネットワークを活かした活動

No.	事業No.	事業名		担当課	ページ
4	2-1	地域福祉のネットワークづくり		総務	5

#### 重点取組3 団体支援や講習会などを行ない つながりあるまちづくり

No.	事業No.	事業名		担当課	ページ
5	3-1	福祉関係組織の活動支援		総務	6

#### 重点取組4 笑顔あふれる地域づくりをめざして ともに支えあう地域福祉事業

##### (1) ボランティア活動の推進と援助

No.	事業No.	事業名		担当課	ページ
6	4-1	ボランティア活動事業		地域福祉	8

##### (2) 住民主体による地域福祉活動の推進

7	重点	4-2	地域包括ケア推進事業	受託	地域福祉	12
8	重点	4-3	ふれあいサロン事業	助成	地域福祉	14
9		4-4	ほほえみネット事業		地域福祉	15
10		4-5	障がい者地域生活アシスタント事業	受託	地域福祉	15

##### (3) 子育て支援の推進

11		4-6	ファミリー・サポート・センター事業	受託	地域福祉	16
12		4-7	子育て支援センター一時預り・病後児預り事業	受託	地域福祉	17

##### (4) 地域における権利擁護の推進

13		4-8	福祉サービス利用援助事業かけはし	助成	地域福祉	18
14	重点	4-9	成年後見事業		地域福祉	18
15		4-10	資金貸付事業		地域福祉	19

##### (5) 身近な地域での住民のつながり 支えあい活動の推進

16		4-11	安心生活創造事業	受託	地域福祉	19
17		4-12	配食サービス事業	受託	地域福祉	21
18		4-13	家族介護リフレッシュ事業	受託	地域福祉	21
19		4-14	生活・介護サポーター養成事業	受託	地域福祉	22
20	新規	4-15	小地域お茶の間づくり事業	助成	地域福祉	23
21		4-16	地域保健福祉事業(吉田)	受託	地域福祉	24

#### 重点取組5 住み慣れた地域での安心生活を支える 専門的サービスの提供

No.	事業No.	事業名		担当課	ページ
22	5-1	地域福祉事業(一次予防事業)	受託	生活福祉	24
23	5-2	介護保険事業(甲田事業所)		生活福祉	25
24	5-3	障害者自立支援事業(甲田事業所)		生活福祉	26
25	5-4	介護福祉事業		介護福祉	26
26	5-5	介護保険事業(吉田事業所・本所事業所)		介護福祉	27
27	5-6	障害者自立支援事業(吉田事業所)		介護福祉	29

#### 重点取組6 地域の身近な相談窓口として ネットワークを活かした活動

No.	事業No.	事業名		担当課	ページ	
28	重点	6-1	地域包括支援センター事業	受託	地域包括	30

## ■ 事業報告

平成 28 年度の各事業の実施状況について、次のとおり報告いたします。

### 重点取組 1 社会福祉法人としての機能強化

#### 1-1 法人運営事業の推進

##### (1) 諸会議の開催

社協の基本理念や基本方針に基づいた活動、事業を計画的に展開するにあたり、役職員が法人組織としての使命や役割について、共通した目的や認識を持ち、**社協事業を円滑に進めるため、諸会議を開催し、会務の運営を図りました。**

##### ① 理事会：計 7 回

区分	内容	実施日
第 1 回	○規程の一部改正について、平成 27 年度事業報告・資金収支決算の認定について他	平成 28 年 5 月 25 日
第 2 回	○規程の一部改正について、平成 28 年度一般会計資金収支補正予算(第 1 次)他	平成 28 年 8 月 25 日
第 3 回	○規程の一部改正について、理事および監事の推薦について	平成 28 年 12 月 1 日
第 4 回	○会長・副会長の選任について、所属部会員の選任について、広報委員の選任について他	平成 28 年 12 月 21 日
第 5 回	○定款の変更について、役員等選任委員会運営規程の制定について他	平成 29 年 1 月 31 日
第 6 回	○規程の制定について、平成 29 年度業計画、平成 28 年度資金収支予算について他	平成 29 年 3 月 7 日
第 7 回	○評議員の推薦について	平成 29 年 3 月 23 日

##### ② 監査：計 2 回

区分	内容	実施日
第 1 回	○平成 27 年度事業報告及び決算等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項及び業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項及び業務	平成 28 年 5 月 16 日
第 2 回	○平成 28 年度上半期事業報告および経理状況等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項および業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項および業務	平成 28 年 11 月 11 日

③ 評議員会：計 5 回

区 分	内 容	実施日
第 1 回	○平成 27 年度事業報告・資金収支決算の承認について他	平成 28 年 5 月 27 日
第 2 回	○規程の一部改正について、平成 28 年度資金収支補正予算(第 1 次)	平成 28 年 8 月 31 日
第 3 回	○規程の一部改正について、理事および監事の選任について	平成 28 年 12 月 8 日
第 4 回	○定款の変更について、役員等選任委員会運営規程の制定について他	平成 29 年 2 月 3 日
第 5 回	○規程の制定について、平成 29 年度業計画、平成 28 年度資金収支予算について他	平成 29 年 3 月 13 日

④ 市福祉保健部・市社協社会福祉事業調整協議会：計 3 回

区 分	内 容	実施日
第 1 回	○社協からの要望について、市から社協への要望、各課より事業の調整について	平成 28 年 5 月 11 日
第 2 回	○社協から市への要望等について、市から社協への要望	平成 28 年 10 月 25 日
第 3 回	○平成 29 年度予算について	平成 28 年 11 月 21 日

⑤ 総務部会：計 5 回

区 分	内 容	実施日
第 1 回	○会長専決事項および平成 27 年度事業報告、資金収支決算等について、税務調査について、災害時多言語支援センター設置等に関する協定について他	平成 28 年 5 月 18 日
第 2 回	○第 2 回理事会提出議案についての審議、福祉委員会議報告について、社会福祉法改正について他	平成 28 年 8 月 19 日
第 3 回	○第 3 回理事会提出議案についての審議、福祉委員会議アンケート結果について、社会福祉法改正について他	平成 28 年 11 月 28 日
第 4 回	○第 5 回理事会提出議案についての審議	平成 29 年 1 月 19 日
第 5 回	○第 6 回理事会提出議案についての審議	平成 29 年 2 月 28 日

⑥ 介護保険事業関係部会：計 6 回

区 分	内 容	実施日
-----	-----	-----

第1回	○通所介護事業所に係る導入機種の変更について、税務調査について他	平成28年4月19日
第2回	○会長専決事項および平成27年度事業報告、資金収支決算等について、災害時多言語支援センター設置等に関する協定について他	平成28年5月23日
第3回	○第2回理事会提出議案についての審議、福祉委員会議報告について、社会福祉法改正について、各事業所進捗状況等について他	平成28年8月24日
第4回	○第3回理事会提出議案についての審議、福祉委員会議アンケート結果について、社会福祉法改正について、各事業所進捗状況等について他	平成28年11月24日
第5回	○第5回理事会提出議案についての審議、各事業所進捗状況等について	平成29年1月23日
第6回	○第6回理事会提出議案についての審議、各事業所進捗状況等について	平成29年3月3日

⑦ 広報委員会：計5回

区分	内容	実施日
第1回	○社協だより「第49号」掲載内容について	平成28年4月7日
第2回	○社協だより「第50号」掲載内容について	平成28年6月1日
第3回	○社協だより「第51号」掲載内容について	平成28年8月29日
第4回	○社協だより「第52号」掲載内容について	平成28年12月13日
第5回	○社協だより「第53号」掲載内容について	平成29年3月30日

⑧ 法人経営委員会：計1回

区分	内容	実施日
第1回	○第1次補正予算について他	平成28年7月13日

⑨ 生活福祉資金貸付審査会  
開催実績なし

⑩ 福祉委員会議

今年度の福祉委員に、福祉委員制度、社協の事業について理解していただき、協力を得るため、会議を行ないました。

	日時	該当町	場所
6月7日(火)	10:00～	八千代町	八千代文化施設フォルテ
	14:00～	美土里町	美土里生涯学習センターまなび
6月8日(水)	10:00～	甲田町	甲田文化センターミュージズ



	14:00～	高宮町	市役所高宮支所
6月9日(木)	10:00～	向原町	向原生涯学習センターみらい
	19:00～	吉田町	クリスタルアージュ

内 容：福祉委員制度について  
平成28年度の事業計画について

〔福祉委員出席表〕

	出席者数	福祉委員数	出席率
吉田	65	116	56.0%
八千代	34	55	61.8%
美土里	42	76	55.3%
高宮	42	80	52.5%
甲田	58	114	50.9%
向原	42	53	79.2%
合計	283	494	57.3%



⑪ 苦情解決に関する処理要綱の第三者委員会

区分	内 容	実施日
第1回	○委嘱状交付、苦情解決に関する処理要綱について	平成28年9月26日

⑫ 役員等選任委員会関係

区分	内 容	実施日
第1回	○評議員の選任について	平成29年3月24日

**1-2 社会福祉従事者の育成**

高島市社協へ見守りネットワーク活動等を通じた地域づくりの取組について視察し、地域課題の共有や情報交換を行いました。また、キャリアアップ助成金を積極的に活用し、職員全体の資質向上に努めました。

区分	内 容	実施日
役員・評議員等研修	○高島市社協視察研修会 10名	平成28年7月22日・23日
職員研修	○職員全体研修(年10回) ○その他県社協主催事業別研修など	平成28年4月28日から平成29年1月26日まで10回 随時

### 1-3 施設指定管理の受託運営

安芸高田市から4施設の指定管理委託を受け、地域の福祉拠点として、多様化する住民ニーズに対応した場として運営ができるよう、設備の維持管理等を行いました。

管 理 施 設	延利用団体数	延利用者数 (人)
保健センター	158	4,072
吉田老人福祉センター	269	2,476
ふれあいセンターいきいきの里	337	3,418
ふれあいセンターこうだ	123	1,649
合 計	887	11,615

## 重点取組2 福祉のまちづくりをめざして

### ネットワークを活かした活動

#### 2-1 地域福祉のネットワークづくり

##### (1) 社協ネットワークの構築

広報やホームページでの啓発や役職員による戸別訪問、チラシを配布し、積極的に声掛けを行ない、社協会員の加入促進を図りました。

##### ①社協会費納入（集計金額 平成29年3月31日現在） [単位：円]

	戸別会費	賛助会費	団体会費	合 計
吉 田	1,352,000	43,000	183,000	1,578,000
八千代	567,750	30,000	135,000	732,750
美土里	442,000	8,000	42,000	492,000
高 宮	570,500	11,000	69,000	650,500
甲 田	695,500	25,000	102,000	822,500
向 原	684,000	16,000	30,000	730,000
市 外		1,000	42,000	43,000
合 計	4,311,750	134,000	603,000	5,048,750

##### ②会員加入状況（平成29年3月31日現在） [単位：件]

	賛助会員	団体会員
吉 田	43	61
八千代	30	45
美土里	8	14
高 官	11	23
甲 田	25	34
向 原	16	10
市 外	1	14
合 計	134	201

### 重点取組 3 団体支援や講習会などを行ない

#### つながりあるまちづくり

#### 3-1 福祉関係組織の活動支援

##### (1) 日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区事務事業

災害救護・救急法講習・AED（自動体外式除細動器）の普及など健康と安全を守る活動や、看護師養成・血液事業・医療事業の推進に活用させていただくため、社資（事業資金）の募集を行ないました。また、熊本地震災害への義援金を取扱い、県支部を通じて被災地へ届けることができました。

区 分	内 容	実 施 時 期
戸別社資	○福祉委員へ依頼通知 500円/戸	平成28年5月1日～ 平成29年3月31日

##### ①社資納入

[単位：円]

	一般社費	世帯数	納入世帯数	納入率	寄附金	件数
吉 田	1,118,000	3,989	2,233	55.9%	214,000	370
八千代	542,500	1,239	1,084	87.4%	8,750	35
美土里	439,000	961	878	91.3%	0	0
高 官	576,000	1,328	1,151	86.6%	0	0
甲 田	681,500	1,717	1,356	78.9%	44,700	12
向 原	683,000	1,525	1,366	89.5%	0	0
合 計	4,040,000	10,759	8,068	74.9%	267,450	417

##### ②災害義援金受付状況

[単位：円]

義援金・救援金名	受付期間	義援金
東日本大震災義援金	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 31 日	4,093
平成 28 年熊本地震災害義援金	平成 28 年 4 月 19 日～ 平成 29 年 3 月 31 日	2,222,086

※平成 28 年 6 月 1 日にイズミ吉田店にて街頭募金を実施



### ③災害、火災等への支援協力 〔災害支援〕

災害発生日	地域	状況	毛布	緊急セット	ハस्तオル	寝衣大	寝衣小	学用品
平成 29 年 3 月 3 日	向原	全焼	1	1	1	1	0	0

### ④赤十字講習会 〔実績表〕

〔単位：回〕

AED	救急法	災害時高齢者生活支援講習	健康生活支援講習会	幼児安全法	合計
0	3	0	0	0	3

## (2) 安芸高田市共同募金委員会事務事業

さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む住民団体やグループ等を支援する仕組みとして、また、住民のやさしさや思いやりを届ける運動として、「自分の町を良くするしくみ」をメインテーマに赤い羽根共同募金運動を行ないました。

### ①運営委員会：計 2 回

区分	内容	実施日
第 1 回	○平成 27 年度事業報告・決算の認定について	平成 28 年 6 月 1 日
第 2 回	○平成 29 年度事業計画・会計予算について ○共同募金配分金地域助成要領の一部改正について ○運営委員・審査委員・監事の選任同意について	平成 29 年 2 月 22 日

### ②審査委員会：計 1 回

区分	内容	実施日
第1回	○平成28年度地域助成金事業審査について	平成28年8月4日

③募金実績（集計金額 平成29年3月31日現在）

〔単位：円〕

	戸別募金	法人募金	職域募金	街頭・イベント募金	その他	歳末	学校	合計
吉田	1,388,500	124,220	242,450	36,031	11,885	0	6,765	1,809,851
八千代	561,750	25,000	37,325	52,861	2,000	0	0	678,936
美土里	440,200	39,000	35,850	14,779	1,842	0	0	531,671
高宮	573,000	56,000	71,125	37,922	7,906	0	0	745,953
甲田	682,700	56,000	73,700	57,064	3,000	10,000	0	882,464
向原	684,500	44,000	60,700	12,622	155	0	0	801,977
市外					0	0	0	0
合計	4,330,650	344,220	521,150	211,279	26,788	10,000	6,765	5,450,852

### （3）共同募金配分金事業

市民の皆さまにご協力いただいた募金は地域福祉充実のために活用しています。

#### ①社会福祉協議会事業への配分

- ・成年後見事業
- ・ふれあいサロン事業
- ・配食サービス事業
- ・地域福祉事業
- ・小地域お茶の間づくり事業



#### ②地域助成事業配分

- ・市内の地域住民で組織する4団体へ総額228,000円の助成

#### ③共同募金委員会運営

## 重点取組4 笑顔あふれる地域づくりをめざして

### ともに支えあう地域福祉事業

#### 4-1 ボランティア活動の推進と援助：ボランティア活動事業

ボランティア情報の収集と発信、関係分野の団体等と協働による活動ニーズの把握、ボランティアコーディネート業務、ボランティアに関する人材の養成、ボランティアの情報交換の場の提供などによりボランティア活動を進めました。

##### （1）ボランティアの発掘・育成

### ① 「ぶちボランティアスクール」

若い世代がボランティア体験を通じて、共感すること、自分自身が大切な存在であること、社会の一員であることを実感しボランティア活動に参加するきっかけづくりとして開催しました。

期 間：平成 28 年 7 月 22 日～8 月 23 日

対象者：市内の中学生・高校生

参加者：18 人

内 容：ワークショップ・活動（施設活動・ゴミ拾い等）・ふり返り



### ② 福祉教育の推進「出前講座」

学校や地域で福祉・教育の関係者が協働して取り組むことにより、次世代を担う子どもたちに福祉の地域づくり活動への理解と参画をしてもらうことを目的とした福祉教育活動を推進しました。また、その一環として学校の福祉学習へ社協職員を派遣しました。



1) 日 時：平成 28 年 6 月 21 日 13：15～15：40

場 所：吉田小学校（4 年生）

人 数：71 人

内 容：高齢者疑似体験

2) 日 時：平成 28 年 7 月 1 日 13：25～15：45

場 所：向原中学校（1 年生）

人 数：29 人

内 容：高齢者疑似体験・安芸高田市における地域福祉の現状についての講義

3) 日 時：平成 28 年 9 月 29 日 10：40～12：30

場 所：美土里中学校（1 年生）

人 数：20 人

内 容：高齢者疑似体験・車イス体験

安芸高田市高齢者福祉の現状についての講義

## (2) ボランティアに関する情報提供・斡旋紹介・登録・相談等

社協ホームページやお太助フォンを活用して情報提供を行なうほか、ボランティアニーズの斡旋紹介や各種相談に応じました。



〔実績表〕

	登録者数（人）	登録団体数
吉 田	86	2
八千代	7	1
美土里	151	13
高 宮	113	9
甲 田	16	1
向 原	2	0
合 計	375	26

活動内容：施設ボランティア（デイサービス手伝い、小物作りなど）・ふれあいサロン・育児ボランティア・環境保全ボランティア（花植え・ゴミ拾いなど）・配食ボランティア・朗読ボランティア・手話ボランティアなど

### (3) 被災者生活サポートボランティアネットワーク

災害時に被災者への支援活動を行なう団体や関係機関が連携し、迅速に被災者への災害ボランティア活動を行なうため、安全で安心なセーフティーネットの体制づくりを行ないました。



- ① 「災害時多言語支援センター設置等に関する協定」調印式  
日 時：平成 28 年 5 月 24 日 10：30～11：30  
内 容：センター概要説明、協定調印  
出席者：18 人
- ② 被災者生活サポートボラネット推進事業  
日 時：平成 28 年 6 月 23 日 13：30～15：10  
内 容：被災者生活サポートボラネット推進事業内容について  
被災者生活サポートボラネット推進マニュアルについて  
出席者：19 人（19 団体）
- ③ 安芸高田市防災訓練～災害時の外国人支援～  
日 時：平成 28 年 11 月 20 日 9：00～14：00  
内 容：災害時における避難場所の体験や非常食体験  
参加者：78 人

### (4) 各関係機関との連携

各関係機関との連携を図りながら、ボランティアニーズの把握や情報共有等を行ないました。

### ①会議開催

- 1) 安芸高田市ボランティアセンター運営委員会  
日 時：平成 28 年 6 月 13 日 13：30～16：10  
内 容：委員長・副委員長の選任  
平成 27 年度事業報告・決算について  
平成 28 年度事業計画・予算について  
出席者：12 人

- 2) 安芸高田市ボランティア連絡協議会  
[第 1 回]  
日 時：平成 28 年 5 月 30 日 14：00～16：10  
内 容：平成 27 年度事業報告・決算について  
平成 28 年度事業計画・予算について  
役員改選について  
出席者：8 人  
[第 2 回]  
日 時：平成 28 年 7 月 7 日（木）13：30～15：30  
内 容：ボランティア交流活動について  
出席者：6 人

### ②交流活動

- 日 時：平成 28 年 7 月 17 日 9：00～12：30  
内 容：八千代町向山本郷の棚田周辺の清掃活動と会員交流  
参加者：48 人

### ③ボランティア派遣

- 日 時：平成 28 年 10 月 1 日 9：30～14：30  
場 所：吉田運動公園  
内 容：安芸高田市身体障害者グラウンドゴルフ大会の協力  
派遣数：12 人

### ④ボランティア講演会

- 日 時：平成 29 年 2 月 25 日 13：30～15：30  
内 容：演題「お互い様ということ」  
講師 社会福祉法人 ひとは福祉会  
理事長 寺尾 文尚さん  
参加者：89 人



## 4-2～4-5 住民主体による地域福祉活動の推進

### 4-2 地域福祉活動の推進：地域包括ケア推進事業

高齢者や障がい者などの健康状態の把握、安否の確認を行なうほか、各地域が抱える課題の発掘や住民同士の支え合いや見守りの構築をするための協議を行ないました。

#### (1) 協力体制の構築

地域包括ケアのための基盤整備を実施していくうえで、見守り地図の作成、要支援者名簿の作成等、地域の主として活動していただける協力者の要請及び協力体制の整備を構築しました。

##### 1) 地域を見守る会

日 時：平成 28 年 11 月 8 日 10：00～12：00（横田地区）  
平成 28 年 11 月 8 日 13：30～15：30（本郷地区）  
平成 28 年 11 月 9 日 10：00～12：00（北地区）  
平成 28 年 11 月 9 日 13：30～15：30（生桑地区）

場 所：市役所美土里支所

内 容：概要説明

要請者：美土里地区介護サポーター養成講座修了者

〔実績表〕

	協力者数
横田地区	6
本郷地区	3
北地区	2
生桑地区	4
合 計	15

#### (2) 情報収集

地域に住んでいる高齢者等（およそ 75 歳以上）の把握、また、その高齢者等が緊急時に支援が必要かどうかの情報を地域を見守る会の協力者から収集し、あわせて見守り地図の作成を行ないました。また、見守り地図および要支援者名簿については、協力員の協力により随時情報更新を行なっています。  
対象地域：美土里町

##### 1) 情報収集及び地図作成作業

日 時：平成 28 年 11 月 8 日 10：00～12：00（横田地区）

平成 28 年 11 月 8 日 13 : 30～15 : 30 (本郷地区)  
 平成 28 年 11 月 9 日 10 : 00～12 : 00 (北地区)  
 平成 28 年 11 月 9 日 13 : 30～15 : 30 (生桑地区)  
 平成 28 年 11 月 29 日 16 : 20～17 : 20 (北地区)  
 平成 28 年 12 月 1 日 11 : 00～12 : 10 (横田地区)  
 平成 28 年 12 月 2 日 13 : 40～14 : 10 (北地区)  
 平成 28 年 12 月 19 日 13 : 15～14 : 15 (横田地区)  
 平成 28 年 12 月 19 日 13 : 15～15 : 15 (生桑地区)  
 平成 29 年 2 月 28 日 11 : 15～11 : 30 (北地区)  
 平成 29 年 3 月 24 日 15 : 15～15 : 45 (本郷地区)

場 所：市役所美土里支所および市社協美土里支所

人 数：延べ 15 人

[実績表]

	高齢者等の把握人数	要支援者数
横田地区	140	109
本郷地区	64	54
北地区	75	52
生桑地区	93	79
合 計	372	294

### (3) 見守り体制の構築

お太助フォンを活用した「元気コール」で、週に 1 度、高齢者や障がい者などの健康状態の把握、安否の確認を行ないました。

対象地域：八千代町、甲田町

[実績表]

	利用世帯数	生活支援ワーカー数
八千代	17	7
甲 田	24	2
合 計	41	9

### (4) 組織化の整備

地域包括ケア推進のための基盤整備を実施していくうえでの、運営主体の組織化を図りましたが、生活支援体制整備事業でも組織化が求められているため、組織化の前段階である各関係機関の連携の強化を行ないました。

対象地域：美土里町

1) 美土里町地域運営協議会連合会 地区会長会

日 時：平成 28 年 6 月 15 日 20 : 00～21 : 00

場 所：市役所美土里支所  
人 数：8人  
内 容：事業説明

2) 横田振興会 役員会

日 時：平成 28 年 9 月 20 日 20：00～21：00  
場 所：美土里高齢者コミュニティセンター  
人 数：15人

### (5) 他事業との連携

地域包括ケア推進事業と関わりの深い、安心生活創造事業、小地域のお茶の間づくり事業、ふれあいサロン事業の会議等で、事業の概要説明を行ない、理解と協力を求めました。

安心生活創造事業の会議においては、実際に見守り地図と要支援者名簿を活用し、今後の巡回訪問の支援で活かせるような情報支援を行ないました。

### 4-3 地域福祉活動の推進：ふれあいサロン事業

閉じこもり防止や、楽しく過ごせる場づくりとしてふれあいサロンを推進し、各サロンへの活動費を助成するほか、新規サロン開設や運営についての相談、ふれあいサロン代表者会議での情報提供等を行ないました。



〔活動実績表〕

	サロン数（うち新規数）	開催数	延利用者数
吉 田	8	78	1,049
八千代	17	163	1,960
美土里	15(1)	96	1,470
高 宮	13(1)	89	1,150
甲 田	28(1)	277	3,231
向 原	21	188	3,257
合 計	102(3)	981	12,117

#### 4-4 地域福祉活動の推進：ほほえみネット事業

暮らしの中のちょっとした困りごとを応援し合うお互いさま活動として、手伝いを必要とする利用者の相談を受け、手伝いをする協力員をコーディネートする等、助け合いのサービスを推進しました。

支援件数：373件

協力員数：120人

〔活動内容〕

内 容	活動件数
家事援助（掃除・調理等）	213
見守り・話し相手	53
粗大ゴミの搬出・ゴミ出し	44
買い物	22
薬の受取り	16
散歩の付き添い・犬の散歩	1
その他	24
合 計	373

##### （1）視察研修

お互いのネットの活動の取り組みや協力員との情報交換を通じ、日々の活動の改善につながるよう交流を図りました。

日 時：平成28年10月21日 8:15～16:45

場 所：大崎上島町社会福祉協議会 木江保健福祉センター

人 数：(安芸高田市) ほほえみさん 18名

(大崎上島町) かみじまさん 10名

内 容：ネット事業の活動報告・交流会

#### 4-5 地域福祉活動の推進：障がい者地域生活アシスタント事業

障がいのある方が、地域のなかで安心して暮らすことができるよう、生活協力員と利用者との連絡調整を行ない、利用者のサポートを推進しました。また、事業に関する相談対応や申請から利用に至るまでの手続きを行ないました。

〔実績表〕

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
登録者数	10	2	3	2	2	4	23
延支援回数	24	0	23	0	0	0	47
生活協力員	12	10	4	2	3	12	43

## 4-6～4-7 子育て支援の推進

### 4-6 子育て支援の推進：ファミリー・サポート・センター事業

仕事や急な用事のため、早朝や夕方、または休日などに子どもを保育できない保護者のため、子育てを応援して欲しい人（依頼会員）と子育てを応援してくれる人（提供会員）との連絡調整を行ない、両方を繋げ子育ての応援を行ないました。

支援件数：293件  
提供会員：61人  
依頼会員：50人  
両方会員：6人



〔支援内容〕

内 容	支援件数（件）
保育施設の開始前や終了後の預かり	142
保護者等の短時間・臨時就労の預かり	86
学童保育の開始前や終了後の預かり	40
保育施設までの送迎	11
保護者等の急用の場合の預かり	7
学校の放課後の預かり	6
母親の健康診断	1
合 計	293

#### （1）交流会

会員さん同士交流しながら顔見知りになることで、スムーズな支援につなげることと、育児や生活上の悩みなどお互いに話す機会を持ちました。

「第23回ファミサポ交流会」

日 時：平成28年8月11日10:30～14:00

内 容：やまめのつかみどり、バーベキュー、アンケート

参加者：提供会員7人、依頼・一時預り会員14人、子ども36人  
他大人9人 計66人

#### （2）合同研修会

ファミリー・サポート・センター事業の提供会員・依頼会員と子育て支援センター事業の一時預り・病後児預り会員合同での幼児安全法の研修会を開き、身近で起

こりやすい事故と対処法や AED の使用方法を日本赤十字社の指導員さんから学びました。

「ファミリー・サポート・センター事業  
一時預り・病後児預り事業合同研修会」

日 時：平成 29 年 2 月 12 日 13：00～15：45

内 容：幼児安全救急法、AED 使用方法、アンケート

参加者：依頼・一時預り会員 2 人、託児 4 人

計 6 人

#### 4-7 子育て支援の推進：子育て支援センター一時預り・病後児預り事業

上の子の参観日や通院、美容院や仕事など急な用事で子どもを保育できない時、吉田支所内の保育室「ふわふわ」で一時的に子どもを預り、保育を行ないました。また、里帰り出産等での安芸高田市外からの登録、預りも行ないました。

支援件数：562 件

会員数：169 件



〔利用理由〕

内 容	利用件数
保護者の勤務の都合	215
保護者の通院・体調不良	121
私用	79
買い物	37
兄弟姉妹の行事の参加	25
美容院	23
家族の通院・健診等	19
リフレッシュ	15
就職活動	13
冠婚葬祭・お見舞い	8
免許の更新・確定申告	4
試験勉強	1
講習会・習いごと	1
引越し準備	1
合 計	562

## 4-8～4-10 地域における権利擁護の推進

### 4-8 地域における権利擁護の推進：福祉サービス利用援助事業かけはし

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者などの判断能力が不十分な方に対して、地域で生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理、通帳・印鑑・証書等の預かりを内容とする福祉サービスの利用援助を行いました。

〔実績表〕

	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	合計
登録者数	15	3	9	1	3	9	40
延支援回数	3,421	401	687	91	349	1,078	6,027
生活支援員	6	3	3	2	3	5	22

### 4-9 地域における権利擁護の推進：成年後見事業

判断能力が不十分な方の契約や財産管理を手助けする後見人を、法人で受任すると同時に、住民の皆さまの身近な相談所となるよう努めました。

〔実績表〕

	後見	保佐	補助	合計
受任件数	2	0	0	2
延支援回数	223	0	0	223

#### (1) セミナー・相談会

住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことができるように、関係機関が連携を図り「成年後見制度」についてのセミナー・相談会を開催しました。

〔セミナー〕

日時：平成28年12月14日 13:30～15:00

演題：「事例から読み取る身近な終活  
～自分らしいこれからの生き方～」

講師：公益社団法人後見センターリーガルサポート広島支部  
副支部長 清水 佐智子さん



参加者：40名

[相談会]

日時：平成28年12月14日 15:00～16:00

広島県弁護士会「権利擁護センターぱあとなあ」

社会福祉士 平岡 和子さん

相談者：3名

#### 4-10 地域における権利擁護の推進：資金貸付事業

資金名	平成27年度	平成28年度		
	年度末件数	新規貸付件数	償還件数	償還免除件数
1. 高額療養・出産費貸付資金				
(1) 高額療養費貸付資金	0	0	0	0
(2) 出産費貸付資金	0	0	0	0
2. 生活福祉資金				
(1) 生活福祉資金	6	1	1	0
(2) 緊急小口資金	6	1	2	0

#### 4-11～4-16 身近な地域での住民のつながり

#### 支えあい活動の推進

#### 4-11 安心生活創造事業

一人暮らし世帯、高齢者・障がい者世帯が地域で安心して暮らせるための応援活動として、日常的に支援が必要な方に、地域住民が連携し、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行ないました。また、民生委員児童委員協議会等の関係機関とも連携し、支援対象者の把握も行ないました。



#### (1) 見守り活動および生活支援

生活・介護サポーター養成講座を修了した登録訪問員が、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行なうための連絡調整



を行ないました。また、支援対象者の実態把握調査等の利用対象者としての利用申請手続きも行ないました。

〔実績表〕

	利用者数	訪問員数	巡回訪問 支援回数	契約訪問 支援回数	実態把握 調査数
吉 田	73	82	1,532	9	12
八千代	30	49	962	8	8
美土里	56	47	1,300	108	20
高 宮	57	57	1,457	147	17
甲 田	55	72	1,406	23	19
向 原	34	32	1,114	42	14
合 計	305	339	7,771	337	90

## (2) 地域の見守り体制

地域で安心して生活できるよう、配達時などに声かけや安否確認をしていただくお店として登録していただきました。また、お太助サポート帳を利用者や関係機関へ配布しました。

〔お太助協力店登録数〕

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
継続	28	8	7	14	17	12	86
新規	3	0	3	1	1	0	8

〔お太助サポート帳配布数〕

利用者	訪問員	協力店	商工会	民児協	ケアマネ	合 計
305	339	94	6	129	42	915

## (3) 関係機関との連携

民生委員・児童委員や行政、地域住民との連携を図りながら、支援が必要な方の発掘を行ないました。また、地域における課題等を情報共有するための協議会を開催しました。

日 時：平成 28 年 6 月 15 日 11：00～12：00（吉田町）  
 平成 28 年 6 月 17 日 11：00～12：00（高宮町）  
 平成 28 年 6 月 17 日 14：00～15：00（美土里町）  
 平成 28 年 7 月 19 日 14：00～15：00（甲田町）  
 平成 28 年 7 月 20 日 15：00～16：00（八千代町）  
 平成 28 年 7 月 26 日 13：30～14：30（向原町）

参加者：245 人

#### (4) 支援体制調整会議

登録訪問員の支援体制の協議をし、円滑な支援につながるよう調整を行いました。また、地域の情報を共有し支援が必要な方の発掘を行い、必要な支援へとつなげました。

日 時：平成 29 年 3 月 10 日 10：30～11：30（吉田町）  
 平成 29 年 3 月 10 日 14：00～15：00（八千代町）  
 平成 29 年 3 月 14 日 14：00～15：00（美土里町）  
 平成 29 年 3 月 15 日 10：30～11：30（高宮町）  
 平成 29 年 3 月 17 日 10：30～11：30（甲田町）  
 平成 29 年 3 月 17 日 14：00～15：00（向原町）

参加者：139 人

#### 4-12 配食サービス事業

在宅の高齢者に対して、配食ボランティアが栄養バランスのとれた食事を定期的に配達し、あわせて安否確認や体調の変化の察知を行ない、次に繋がるよう推進しました。



〔実績表〕

	八千代	高 宮	甲 田	合 計
登録者数	18	63	49	130
配食回数	100	46	47	193
配 食 数	200	665	780	1,645

#### 4-13 家族介護者リフレッシュ事業

在宅で介護している介護者を一時的に介護から解放し、心身のリフレッシュや精神的負担の軽減を図りました。

対象者：要介護 2 以上の高齢者の方等を在宅で介護している家族介護者

開催日：平成 28 年 11 月 4 日

場 所：広島市

内 容：おりづるタワー・原爆ドーム・平和記念公園（観覧）

グランドプリンスホテル広島（昼食）

〔実績表〕

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
参加者数	21	5	4	3	13	6	52

## 4-14 生活・介護サポーター養成事業

少子高齢化に伴う高齢社会を見据え、地域住民と行政、各関係機関や団体が連携し、協働のまちづくりを推進するための人材養成を行ないました。また、講座内容を検討する会議等も行ないました。



### (1) 養成講座

協働のまちづくりを推進するための人材養成を関係機関・団体と連携しながら、8月から9月の間で、4日間・12時間の講座を開講しました。

[実績表]

	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	合計
第11期 修了者数	7	2	0	1	3	2	15

### (2) 連絡協議

養成講座ガイドライン（指針）や講座日程、また、養成講座で行なう内容等について、各関係機関・団体との協議を行ないました。

#### 1) 高齢者と障がい者の地域生活を支える連絡会議

日時：平成28年5月12日 13:30～15:00

内容：養成講座ガイドライン（指針）について  
養成講座日程について など

出席者：16人

#### 2) 講義・実習内容検討会議

##### [第1回]

日時：平成28年6月21日 13:30～14:30

内容：養成講座ガイドライン（指針）について  
養成講座日程について など

出席者：22人

##### [第2回]

日時：平成28年12月9日 10:00～11:00

内容：第11期生活・介護サポーター養成講座振り返り  
今後の養成講座について など

出席者：11人

### (3) 継続研修

生活・介護サポーター養成講座（第1期～11期）修了者を対象に、住民による見守り活動の強みを活かしたつながりづくり、地域づくりを推進するためのフォローアップ研修を行いました。

日 時：平成29年2月10日 13:30～15:00

内 容：研修①「高齢者等の消費者被害防止」

講師：市役所総務部危機管理課

主幹 上田賢治さん

研修②「高齢者虐待を防ぐために～気づくこと、つなぐこと～」

講師：安芸高田市地域包括支援センター職員

出席者：90人

#### 4-15 小地域お茶の間づくり事業

常設的な拠点で地域課題を共有し、その地域課題を地域の中で解決できる仕組みづくりを構築し、高齢者等の日中の居場所づくりとして、「くつろぎハウスよこた」を開所しました。

実施地域：美土里町横田地区

1) 横田振興会との協議

開催数：4回

内 容：事業概要説明

高齢者コミュニティセンターの使用について

チラシ配布について など

出席者：延べ50人

2) 協力員との協議

開催数：11回

内 容：事業概要説明、運営費用について、チラシ配布、準備物の購入、

運営方法についてなど

出席者：延べ143人

3) くつろぎハウス開所

開 所：平成28年11月2日～

開所日：毎週月曜・水曜・金曜

時 間：9:30～15:30

場 所：美土里高齢者コミュニティセンター

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
57	799

実施地域：甲田町小田東地域

1) 関係者との協議

開催数：2回

内 容：事業概要説明、開設に向けての事前協議

出席者：延べ10人

#### 4-16 地域保健福祉事業（吉田）

要介護者等の認定を受けていない市内の高齢者が地域住民と触れ合うことで、閉じこもり防止や高齢者の保健および福祉の向上を図ることを行ないました。

登録者数：305人

〔実績表〕

開催数(回)	延利用者数(人)
70	1,439

### 重点取組5 住み慣れた地域での安心生活を支える

#### 専門的サービスの提供

国の動向から今後の方策として、多様な担い手による生活支援、運動・通いの場の提供、見守り等の体制づくりが必要となるため、平成28年度は新たな取組みとして、生活福祉課を設置し、機能編成・強化を図りました。

#### 5-1 地域福祉事業

##### (1) 一次予防事業（げんき教室）

地域の集会所を拠点に、高齢者の介護予防活動を推進しました。専門職員が中心となり、今後の担い手として地域の登録支援員と一緒に、生活機能の維持・向上に向けた取組みを行ないました。参加者の利便性や地域の実情に応じて、送迎の便宜を図りました。

- ①内 容：健康チェック、介護予防運動、認知症・うつ予防 など
- ②対象者：65歳以上、介護認定を受けていない方、要介護認定を受けていてもデイサービスおよび、デイケアを利用していない方
- ③開催日：月4回
- ④場 所：吉田老人福祉センター・ふれあいセンターいきいきの里

丹比生活改善センター・丹比西集会所  
 ふれあいセンターこうだ・山田集会所  
 高地ふれあい集会所・長屋集会所・火の谷集会所・北原集会所

〔実績表〕

	会場名	登録者 (人)	開催数 (回)	延参加数 (人)
吉田	吉田老人福祉センター	13	46	382
	ふれあいセンターいきいきの里	18	47	534
	丹比生活改善センター	14	44	459
	丹比西集会所	17	44	329
甲田	ふれあいセンターこうだ	16	43	391
	山田集会所	9	42	236
	高地ふれあい集会所	12	44	210
	長屋集会所	10	43	161
	火の谷集会所	9	46	236
八千代	北原集会所	15	44	320
合 計		133	443	3,258

## 5-2 介護保険事業：甲田事業所

### (1) 訪問介護事業

住み慣れた地域での安心生活を支えるため、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。平成27年度より特定事業所加算を算定し、人材要件、体制要件（計画的な内・外部研修、定例会議等）を整え、事業運営を行ないました。

#### 1) 介護保険

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成28年度	503	42	24,794,670
平成27年度	464	39	25,094,450
差引増減	39	3	△299,780

#### 2) 介護予防

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成28年度	199	17	3,545,350
平成27年度	195	16	3,148,660
差引増減	4	1	396,690

## (2) 通所介護事業

居宅において、要支援・要介護状態にある高齢者を対象に、入浴や食事等の必要な援助、機能訓練の提供を行ないました。今年度は、ジョイサウンドの導入により、能動的音楽療法や軽度運動療法のメニューを増やし、個別機能訓練・認知症予防の取り組みに力を入れたことで、利用者の満足度を上げることが出来ました。

### 1) 介護保険

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	672	56	44,648,086
平成 27 年度	633	53	38,145,050
差引増減	39	3	6,503,036

### 2) 介護予防

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	247	21	8,523,180
平成 27 年度	279	23	9,292,730
差引増減	△32	△2	△769,550

## 5-3 障害者自立支援事業：甲田事業所

住み慣れた地域での安心生活を支えるため、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助を行ないました。

### 1) 障害サービス：居宅介護

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	26	2	663,120
平成 27 年度	28	2	743,410
差引増減	△2	0	△80,290

### 2) 地域生活支援：移動支援

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	0	0	0
平成 27 年度	0	0	0
差引増減	0	0	0

## 5-4 介護福祉事業

### (1) 介護保険対象外福祉用具貸出事業



社協の所有する福祉用具（車椅子、特殊寝台）貸出の提供を行なう事業であるが、現在主に、自費レンタル事業での貸出が主体となっており、実績はありませんでした。

## （２）育児支援家庭訪問事業（受託）

育児支援が必要と認められる世帯に対し、訪問介護員が、家事等の支援を行なう事業であるが、市からの要請依頼はありませんでした。

## （３）訪問介護自費サービス事業

介護保険サービスでは対応できない内容において、**訪問介護吉田事業所が相談を受け、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供を行ないました。**

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	5	0.4	29,600
平成 27 年度	2	0.1	6,400
差引増減	3	0.3	23,200

## 5-5 介護保険事業：吉田事業所・本所事業所

### （１）訪問介護事業

住み慣れた地域での安心生活を支えるため、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。平成 27 年度より特定事業所加算を算定し、人材要件、体制要件（計画的な内・外部研修、定例会議等）を整え、事業運営を行ないました。



#### 1) 介護保険

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	563	47	31,596,738
平成 27 年度	507	42	35,042,387
差引増減	56	5	△3,445,649

#### 2) 介護予防

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	253	21	4,461,355
平成 27 年度	261	22	5,305,624
差引増減	△8	△1	△844,269



## (2) 居宅介護支援事業

日常生活の困りごとや介護に関する相談、介護認定申請の代行、居宅サービス計画書の作成、サービス提供の支援等を行ないました。特定事業所加算算定事業所として、主任介護支援専門員を配置し、困難事例の受入れや地域ケア会議へ積極的に参加し、対策に向けて協議しました。また、地域支援活動を他機関の専門職と合同で推進し、健康増進や認知症予防啓発活動に取り組みました。

### 1) 介護保険

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	2,264	189	35,249,900
平成 27 年度	2,293	191	34,292,730
差引増減	△29	△2	957,170

### 2) 介護予防

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	300	25	1,308,000
平成 27 年度	453	38	1,980,900
対前年比	△153	△13	△672,900

### 3) 要介護認定調査

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	202	17	658,584
平成 27 年度	210	18	677,160
差引増減	△8	△1	△18,576

### 4) 困難事例対応

	困難事例受入数(人)	地域ケア会議出席数(回)
平成 28 年度	5	6
平成 27 年度	3	4
差引増減	2	2

### 5) 地域支援活動 (町別)

	支援活動数 (回)	延支援活動数 (人)
吉 田	8	12
八千代	2	3
美土里	0	0
高 宮	3	6
甲 田	6	9
向 原	3	6
合 計	22	36

### (3) 福祉用具貸与事業

心身の状況、生活環境を踏まえた適切な福祉用具の選定援助、取付け、調整等を行ない、福祉用具の貸出や販売を通して、日常生活上の便宜、介護負担の軽減に努めました。定期ミーティングにより内部の情報共有や定期的メンテナンス（6ヶ月毎）を徹底して行ないました。自費レンタル対象者および対象品目を拡充しました。

#### 1) 介護保険

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	2,293	191	29,366,575
平成 27 年度	2,213	184	30,121,363
差引増減	80	3	△754,788

#### 2) 介護予防

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	1,103	91	6,726,490
平成 27 年度	826	68	4,787,800
差引増減	277	23	1,938,690

#### 3) 自費レンタル事業

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	180	15	471,200
平成 27 年度	163	13	420,587
差引増減	17	2	50,613

### (4) 福祉用具販売事業

全体（介護保険・介護予防・介護保険対象外等）

	延利用件数(件)	月平均利用件数(件)	収入額(円)
平成 28 年度	105	8	2,194,395
平成 27 年度	141	11	2,072,808
差引増減	△37	△5	121,587

## 5-6 障害者自立支援事業：吉田事業所

住み慣れた地域での安心生活を支えるため、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助、外出支援を行ないました。

#### (1) 障害サービス：居宅介護

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	232	19	14,439,010

平成 27 年度	227	19	16,115,680
差引増減	5	0	△1,676,670

## (2) 地域生活支援：移動支援

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 28 年度	7	0.6	26,210
平成 27 年度	1	0.1	12,560
差引増減	6	0.5	13,650

## 重点取組 6 地域の身近な相談窓口として

### ネットワークを活かした活動

#### 6-1 地域包括支援センター事業

##### (1) 総合相談業務（権利擁護相談含む）

介護や医療、福祉など様々な相談を受け、相談内容に応じて適切な関係機関と連携を取りながら、早期対応と問題解決に努めました。

また、様々な行事や地域活動に参加し、気軽な相談窓口として地域包括支援センターの周知を図りました。

相談者	件数
本人	52
家族	114
市役所	80
介護サービス事業所	46
病院	38
障害者基幹相談支援センター	7
社協	59
民生委員	29
福祉委員	0
近所	5
知人	4
事業者等	6
合 計	440

相談内容	件数
在宅介護	55
公的福祉サービス	3
介護保険	258
認知症	34
福祉用具	12
住宅改修	8
公的サービス以外の社会資源	2
高齢者虐待	18
成年後見	1
消費者被害	2
生活困窮	2
精神・健康問題	21
アルコール問題	4

その他	20
合 計	440

相談方法	件数
電話	333
来所	61
訪問	6
その他（会議等）	40
合 計	440

## （２）権利擁護業務

虐待の早期発見・把握に努め、市役所や他機関と連携して早期解決に向けて対応しました。

消費者被害、成年後見制度の相談に応じ、情報提供や啓発を行ないました。

### ○高齢者の虐待状況等

項 目	件 数	備 考
1) 相談・通報受理件数	18	
2) 相談・通報者		
虐待者		
家族・親族	1	
民生委員	3	
介護支援専門員等	5	
本人	2	
警察	2	
行政職員	3	
病院	1	
近隣 市民	1	
3) 事実確認調査の結果		
虐待と判断	5	
虐待ではないと判断	5	
虐待の判断に至らなかった	5	
経過観察・事実確認中等	3	
4) 終結	11	

## （３）包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者におけるさまざまな問題を解決するために、



関係機関と連携を図りながら支援を行ないました。

また、地域のケアマネジャー間のネットワーク作りを行ない、情報交換や後方支援を行ないました。

内 容	回数
安芸高田市居宅介護支援事業所連絡協議会	12回（月1回）
地域ケア会議	15回
小規模多機能運営協議会	28回（9ヶ所）

#### （４）介護予防ケアマネジメント業務

要支援の方へ、自立支援のための介護予防サービス計画作成およびサービス提供の支援を行ないました。

認定調査を安芸高田市から受託し、介護支援専門員が家庭等を訪問し本人の心身の状態を調査しました。

##### ①二次予防事業

- ・新規登録者訪問 4名

##### ②指定介護予防支援業務

		延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成28年度	直営分	3,769	314	16,611,400
	委託分	1,623	135	7,171,000
	小計	5,392	449	23,782,400
平成27年度	直営分	3,719	310	16,350,600
	委託分	1,935	161	8,576,500
	小計	5,654	471	24,927,100
差引増減	直営分	50	4	260,800
	委託分	△312	△26	△1,405,500
	合計	△262	△22	△1,144,700

##### ③認定調査

	延調査件数(人)	月平均調査件数(人)	収入額(円)
平成28年度	142	12	460,080
平成27年度	74	8	239,760
差引増減	68	4	220,320

※平成27年度は7月から実施

## (5) 市との連携

様々な会議に参加し、常に市役所や関係機関等と情報共有や連携を図りました。  
また、出前講座や多職種連携研修等で地域住民と関わりを持ち、関係作りに努めました。

### ①会議関係

内 容	回数
市との定例会議	12回 (月1回)
地域包括ケア推進会議	3回
安芸高田市虐待防止ネットワーク会議	1回
新しい総合事業プロジェクト会議	3回
在宅医療・介護連携実務者ワーキング会議	7回
在宅医療・介護連携推進会議	3回
歯科医師会在宅歯科医療連携室運営委員会	3回
在宅死検討委員会	1回
地域包括支援センター運営協議会	2回
パイロット圏域支援事業会議	4回
障害者自立支援協議会	7回

### ②出前講座

回数：計 2 回

対象：市内ふれあいサロン・老人クラブ 2会場

内容：地域包括ケアシステムの説明・地域包括支援センターの説明・  
認知症予防

参加者：計 38 名

### ③研修会・講演会

- ・介護予防講演会 6回
- ・多職種・地域連携研修会 10回
- ・高齢者虐待防止研修会 1回
- ・認知症講演会 1回
- ・認知症研修会 1回
- ・成年後見研修会 1回
- ・青空の会 5回

